

# 4年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
4月	<b>ばらばら言葉を聞き取る</b> 1時間（話・聞①） ◎相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すことができる。（話・聞(1)ウ、伝国(1)イ(ア)） ■友達の話す言葉を聞き取る。 ☆話し合いの際の、話し手・聞き手の姿勢を育てる題材（特別活動）	1	1 扉の詩を読み、目次やP4「四年生の学習を見わたそう」（このページは、各学習の中で適宜確認するとよい。）を見て、上巻の国語の学習を見通す。 2 「ばらばら言葉を聞き取る」のきまりを説明する。 3 3、4人のグループで、ばらばらにする言葉を考える。 ・誰がどの音を言うか、相談して決める。 4 グループごとに、ばらばら言葉を言う。	<b>【関】</b> 進んで友達と話し合ったり、友達が言っていることを聞こうとしたりしている。 <b>【話・聞】</b> 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱などに注意したりして話している。 <b>【言】</b> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
4月	<b>春のうた</b> 1時間（読①） ◎情景を想像し、リズムを楽しみながら工夫して音読することができる。（読(1)ア、伝国(1)イ(ア)） ■詩を音読する。 ☆自然のすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にすることを育てる題材（道徳）	1	1 これまでの学習を振り返り、音読するときに気をつけることを確かめる。 2 場面の様子を思い浮かべて読む。 ・場所はどこか。 ・どんな人物が出てくるか。 3 人物の気持ちを想像して読む。 4 読み方を工夫して音読する。 ・言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに気をつける。	<b>【関】</b> 表現のしかたや言葉のリズムを楽しみ、声に出して詩を楽しんでいる。 <b>【読】</b> 人物の気持ちや場面の様子が表れるよう言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して、音読している。 <b>【言】</b> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
4月	<b>1 登場人物の人がらをとらえ、話し合おう</b>			
	<b>白いぼうし</b> 8時間（読⑦、書①） ◎場面の移り変わりに注意しながら、中心人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。（読(1)ウ・オ、伝国(1)イ(キ)） ○物語を読み、考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。（書(1)オ） ・人物の行動や心情、場面の様子などがよく分かるように工夫して、音読することができる。（読(1)ア） ・書いたものを読み返し、よりよい表現に書き直すことができる。（書(1)オ） ■登場人物の人柄を捉え、話し合う。 ☆関連読書（図書館活用）	1 2 3 4 5 6 7 8	1 学習の見直しをもつ。 ・これまでに学習した物語を思い出して、登場人物の名前やその人柄について、話し合う。 ・「ふしぎな体験をした松井さんの人がらについて話し合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・並行読書をする場合は、P128「山ねこ、おことわり」や「この本、読もう」にあるシリーズを読むことを確かめる。 2 場面と登場人物を整理する。 幾つの場面できているか。／誰が出てくるか（登場人物）。／中心人物は誰か。／どの場面か、何をするか。 3 「松井さん」の人柄を捉える。 ・会話文から、「松井さん」の考えや思いが分かるところを見つけ、「松井さん」になったつもりで音読する。 ・地の文から、「松井さん」の行動や様子、表情が書かれているところに線を引く。 4 「松井さん」の人柄について、考えたことを発表する。 ・並行読書をしている場合は、自分が読んだ作品を理由にしてもよい。 5 友達の発表を聞いて、思ったことや考えたことをノートに書き、それをもとに話し合う。 6 教材文を読んで、不思議だと思った場面について話し合う。 ・不思議な部分の初めと終わりに線を引く。 7 教材の最後の場面の続きを、ちょうたちの気持ちを想像して書く。 8 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 叙述に着目して物語を読み、登場人物の人柄を捉え、進んで話し合っている。 <b>【読】</b> ・人物の気持ちや性格が表れるように、読み方を考えて音読している。 ・表現の工夫に着目して情景を読むとともに、行動や会話から、人物の気持ちや性格を想像している。 ・物語の場面ごとの人物の様子とその移り変わりを捉えている。 ・物語を読み、考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づいている。 <b>【書】</b> 書いたものを読み返し、よりよい表現になるよう、推敲している。 <b>【言】</b> 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をしている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
4月	漢字の組み立て 2時間 (伝国②) ◎偏旁冠脚に関する漢字の組み立てについて知識をもつことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ☆文字の組み立てを知る題材(書写)	1 2	1 教材のカードを分類し、漢字は幾つかの部分から組み立てられていることや、部分に名前があることを知る。 2 漢字のへん、つくりなどの構成について知り、漢字の組み立てについて考える。	【関】漢字の組み立てや、部分に名称があるということに興味をもっている。 【言】漢字を組み立てている部分の名称や意味を理解している。
4月	漢字辞典の使い方 2時間 (伝国②) ◎漢字辞典の使い方を知り、漢字の部首や成り立ちや画数についての知識をもつことができる。(伝国(1)イ(カ))	1 2	1 漢字辞典を使うと、漢字の読み方、成り立ち、意味、その漢字を使った語句などを調べることができることを知る。 2 「音訓索引」「部首索引」「絵画索引」を使った調べ方を知り、漢字辞典を使う練習をする。 3 友達と互いにこれまでに習った漢字などを出し合って、漢字辞典を使うことに慣れる。	【関】漢字辞典のしくみを理解して、進んで調べようとしている。 【言】漢字辞典の引き方や画数の数え方を理解し、漢字辞典を使って調べている。
4月	春の風景 2時間 (書②) ◎春の風景に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(オ)) ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆地域の人々の生産(農業)に目を向けさせる題材(社会)	1 2	1 写真を見たり、俳句を読んだりして、春の風景や様子を表す言葉を考える。 2 春を感じることやもの、言葉を、「させつの手帳」に書き、友達と交流する。	【関】季節を感じる風景に関心をもち、見つけたことを進んで書こうとしている。 【書】春の風景に興味をもち、それに関わる言葉を「させつの手帳」に書いている。 【言】季節の風景や様子を表す言葉を集め、交流している。
4月 ～ 5月	よりよい話し合いをしよう 【コラム】話す言葉は同じでも 4時間 (話・聞④) ◎司会や提案者などの役割を理解し、目的に向かって、互いの考えの共通点や相違点を考えながら話し合える。(話・聞(1)オ, 伝国(1)イ(ア)) ■よりよい話し合いのしかたについて考え、学級全体で話し合って考えをまとめる。 ☆話し合いの際の、話し手・聞き手の姿勢を育てる題材(日常生活・特別活動) ☆人と接するときの態度について考えさせる題材(道徳)	1 2 3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・P6「いつも気をつけよう」を読み、話し合いをするときに気をつけることを確かめる。 ・学級会や話し合い活動での失敗や、困った経験を振り返り、「話し合い名人になろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 話し合いで今まで困ったことを出し合い、話し合うときに気をつけることを、「予定どおり進めるには」「意見が出るようにするには」「議題にそって話し合いを進めるには」「まとめるには」の四つの観点に整理する。 3 四つの観点に気をつけながら、話題を立てて、話し合いをする。 4 P38「話す言葉は同じでも」を読み、表情や声の調子などによって聞き手の受け止め方が違うことを確認する。 5 学習を振り返る。 ・P37「たいせつ」を参考に、これからの話し合いで気をつけたいことを出し合い、今後の学習活動に生かす。	【関】よりよい話し合いをするために必要なことについて考えようとしている。 【話・聞】司会や提案などの役割と話し合いの目的を理解し、それぞれの立場で参加している。 【言】話し合いを進める言葉、人間関係を損なわない言葉や話し方について考えている。
5月	2 きょうみをもったところを発表しよう 大きな力を出す 動いて、考えて、また動く 8時間 (読⑧) ◎文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の、感じ方の違いに気づくことができる。(読(1)オ) ○筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係を捉えて、段落相互の関係を考えることができる。(読(1)イ)	1 2	1 学習の見通しをもつ。 ・P7「いつも気をつけよう」を読み、説明文を読むときに気をつけることを確認する。 ・「興味をもったことと、それについての自分の考えを発表しよう」という学習課題を設定する。 2 「大きな力を出す」を、段落相互のつながりや、事実・説明・筆者の考えの関係を捉えながら読む。 ・脚注の設問を活用するとよい。 3 「大きな力を出す」を読んで、興味をもったことや考えたことを発表し、自分の考えを伝えるための方法について話し合う。	【関】説明的文章を、自分の経験や知識と照らし合わせて読もうとしている。 【読】 ・文章全体の構成に目を向けて読み、段落相互の関係を理解している。 ・「事実」と「考え」を読み分け、その関係を捉えている。 ・自分の考えの中心となる部分を詳細に読み、引用しながらまとめている。 ・筆者の考えに対する自分の考えを発表し合い、感じ方の違いに気づいている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	○文章の要点や細かい点に注意しながら読み、必要に応じて引用したり要約したりすることができる。(読(1)エ) ・表現したり理解をしたりするために必要な語句を増やしている。(伝国(1)イ(オ)) ■興味をもったところについて自分の考えを發表する。 ☆自分の体について目を向けさせる題材(体育) ☆自分の考えを述べる文章を書く。(総合的な学習の時間)	3 4 5 6 7 8	4「動いて、考えて、また動く」を読み、「大きな力を出す」と同じ文章構成であることを捉える。 5第1段落を読み、筆者の考えを捉える。 6第1段落と同じことが書かれている段落を探し、同じことが二度も書かれている理由を考える。 7第2段落に書かれた疑問の答えが書かれた段落を探し、筆者が体験したり気づいたりした事実とその解説を読み分ける。 8興味をもった部分を引用し、それについて自分の考えをまとめ、文章に書く。 ・文章と図の対応関係にも着目させたい。 9書いたものを発表し合い、一人一人の感じ方や考え方の違いに気づく。 10学習を振り返る。 ・自分の考えを伝えるために工夫することを、P50「たいせつ」を使って、まとめる。	【言】頭や心の働きを表す言葉を見つけている。
5月	漢字の広場① 2時間(書②) ◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ) ■絵を見て想像したことをもとに書く。	1 2	1教科書の絵を見て、町や周りの様子を想像し、提示された言葉を使いながら、町のことを紹介する文を書く。 2書いたものを友達と読み合い、正しく漢字が使われているか評価し合う。 3書いたものを読み返し、間違いを直すなどして推敲する。	【関】絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。 【書】書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。 【言】提示された漢字を正しく使って、文を書いている。
5月	短歌・俳句に親しもう(一) 1時間(伝国①) ◎短歌や俳句を音読して、情景を想像しながら、日本語特有のリズムを感じることができる。(伝国(1)ア(ア)) ■音読したり暗唱したりする。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	1	1短歌・俳句を何度も声に出して読み、言葉の調子や響きを楽しむ。 ・気に入った短歌や俳句を選び、音読したり暗唱したりして楽しむ。 ・添えられた大意を、情景を思い浮かべる参考にするとうい。	【関】短歌や俳句について情景を思い浮かべながら声に出して読もうとしている。 【言】好きな俳句や短歌を選び、五七調の語感やリズムに気をつけて音読している。
5月	3 調べたことを整理して書こう			
6月	新聞を作ろう 【コラム】アンケート調査のしかた 【コラム】新聞にのせる写真や図などを選ぶときには 15時間(書⑬) ◎新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて、伝えたいことが明確になるように文章を書くことができる。(書(1)ア・イ) ○書いたものを読み返し、句読点や段落などに気をつけて書くことができる。(書(1)オ、伝国(1)イ(エ)) ■学級新聞を作る。 ☆文字の大きさや配列に注意して書くことに目を向けさせる題材(書写) ☆調べたことなどを効果的に新	1 2 3 4 6 7 10 11	1学習の見通しをもつ。 ・P55, 61の新聞や実際の新聞を見て、読む人のことを考えた工夫を見つけ、発表する。 ・自分たちにもできる工夫を話し合い、「読む人に分かりやすい学級新聞を作ろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2どんな新聞を作るかについて話し合う。 3教材文を読んで、新聞の特徴や作り方の手順、割り付けの工夫を学ぶ。 4取材には、どんな方法があるかを話し合う。 ・取材のときにメモを取ることやアンケート調査の方法について確認する。 5出来事や事柄を正しく伝えるために、どの取材のしかたがよいかを考え、取材をする。 6学級新聞の下書きをし、割り付けを考える。 ・読み手に伝わるかに注意しながら、記事の下書きをする。 ・記事の内容を踏まえ、割り付けを考える。 7P59「読み返すときに気をつけること」をもとに、記事を読み返し、修正する。	【関】新聞の特徴を知り、進んで新聞を作ろうとしている。 【書】 ・新聞の目的と特性を理解し、書くために必要なことを調べている。 ・伝えたいことが明確になるように文章を書いている。 ・文章を読み返して、必要に応じて修正している。 【言】句読点を適切に打ったり、必要な箇所を改行をしたり、文末を統一したりしているかなどを確かめている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	聞にまとめる。(社会・総合的な学習) ☆学習した内容や国語科以外の学習で調べたことなどを題材(新聞に書く内容)にすることで、教科間の連携を図ることができる。 ☆調べ学習(図書館活用)	12 14 15	8 写真や図などを選ぶときの注意について確認をし、下書きをもとに新聞を作成する。 9 できあがった学級新聞を読み合い、感想を伝え合う。 10 学習を振り返る。 ・P62「たいせつ」や、P63「新聞にのせる写真や図などを選ぶときには」を参考に、新聞の特徴や取材のしかた、読み手に伝える工夫などをノートにまとめる。	
6月	いろいろな意味をもつ言葉 2時間(伝国②) ◎多義語について知り、言葉への興味を広げることができる。(伝国(1)イ(オ))	1 2	1 多義語を用いた詩「とる」や例題を通して、多義語(いろいろな意味をもつ言葉)があることを理解する。 2 国語辞典を使って、例示された言葉を探したり、語句を性質や役割のうえで類別したりして、言葉遊びの詩を作り、紹介し合う。	【関】多義語を用いた詩のおもしろさを理解し、国語辞典を使って他の多義語について調べようとしている。 【言】多義語の使い方について理解している。
6月	ふるやのもり 1時間(読①) ◎場面の移り変わりに注意しながら読み聞かせを聞き、中心人物の気持ちの変化や情景などについて、想像を広げることができる。(読(1)ウ、伝国(1)イ(オ)) ■昔話の読み聞かせを聞いて、楽しんだり想像を広げたりする。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	1	1 題名や教科書の絵からどんなお話なのか想像したことを話し合う。 2 場面の様子を思い浮かべながら、昔話を聞く。 3 感想を交流する。	【関】場面の様子を想像しながら、読み聞かせを聞くことを楽しもうとしている。 【読】読み聞かせを聞いて、場面の移り変わりや人物の様子を捉えている。 【言】読み聞かせを聞いて、昔話に特有の語や表現に気づいている。
6月	4 場面の様子に着目して読み、	しょうかいしよう		
7月	一つの花 8時間(読⑥、書②) ◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。(読(1)ウ、伝国(1)イ(オ)) ○物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方の違いに気づくことができる。(読(1)オ) ○紹介したい本を選んで読み、それについて書こうとすることの中心を明確にして書いている。(読(1)カ、書(1)ア・ウ) ■物語を読んで紹介する。 ☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材(社会・道徳) ☆関連読書(図書館活用)	1 2 3 4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・3年下巻「モチモチの木」で心に残ったことを自分の言葉で表した学習を振り返る。 ・「心に残ったことをもとに、作品を紹介しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 作品を紹介する手順を確認する。 ・紹介する相手を決める。 ・紹介したい事柄や伝えたいことをカードに書くことを確かめる。 3 教師の範読を聞く。 4 設定を確かめ、内容を捉える。 ・人物の行動や会話に着目し、人物の気持ちの変化を確かめる。 ・それぞれの場面の世の中の様子や出来事を押さえる。 5 「一つだけ」という言葉に着目する。 ・P80「たいせつ」を参考に、物語の中で特別な言葉を見つける方法を確かめる。 ・題名に込められた作者の思いについて考える。 6 教材文を紹介する。 ・カードに書き出したことの中から紹介するために取り上げたい事柄を選ぶ。 ・紹介の中心と話の順番を考える。 ・クラスの友達と紹介し合い、感想や気づいたことを伝え合う。 ・最初に決めた相手に紹介し、相手から感想をもらう。 7 学習を振り返る。	【関】物語を読み、心に残ったことをもとに、進んで内容を友達に紹介しようとしている。 【読】 ・会話や心情表現、行動に着目し、人物の気持ちを考えている。 ・物語の紹介のしかたから、一人一人の感じ方に違いがあることに気づいている。 ・(別の物語を紹介する場合に)紹介したい本を選んで読んでいる。 【書】 ・物語を読み、心に残ったことをもとに書くことを決め、紹介するのに必要なこと(題名・作者・あらすじ・出来事・心に残った言葉や文・感想・考え・作品の特徴など)を選んで書いている。 ・強く心に残った言葉や紹介したいことを明確にして書いている。 【言】様子を表す言葉について考え、言葉を置きかえると印象が変わることに気づいている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
		7 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を紹介するときに着目した点を確認する。</li> </ul> <p>8 お気に入りの本を紹介する文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を生かし、言葉に着目して感想を述べたり、内容を簡潔にまとめたりする。</li> </ul>	
7月	<p><b>夏の風景</b> 2時間（書②）</p> <p>◎夏の風景に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。（伝国(1)イ(オ)）</p> <p>○作った俳句を読み合い、よさなどを交流することができる。（書(1)カ）</p> <p>■俳句を作る。</p> <p>☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）</p>	1 2	<p>1 写真を見たり、俳句を読んだりして、夏の風景や様子を表す言葉を考える。</p> <p>2 「せみしぐれ」「すいかわり」「夕すずみ」の中から一つ選んで、夏の風景を表した俳句を作る。</p> <p>3 俳句を読み合い、夏の風景や様子を表現しているところについて意見を交流する。</p>	<p>【関】 季節を感じる風景に関心をもち、見つけたことを進んで書こうとしている。</p> <p>【書】 俳句を作り、夏の風景や様子を表せているかなどについて意見を交流している。</p> <p>【言】 季節の風景や様子を表す言葉を増やしている。</p>
7月	<p><b>自分の考えをつたえるには</b> 7時間（書⑦）</p> <p>◎段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を書くことができる。（書(1)イ）</p> <p>○書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。（書(1)ウ）</p> <p>○書いたものを読み返し、句読点や段落などに気をつけて書くことができる。（書(1)オ、伝国(1)イ(エ)）</p> <p>■意見文を書く。</p>	1 2 3 4 5 6 7	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを相手に伝える文章を書くときに、どんな組み立てで書けばよいかを話し合い、「自分の考えがはっきりと伝わる意見文を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul> <p>2 P85の話題例を参考に、話題を確かめて自分の考えを決める。</p> <p>3 P85を参考に、理由と、それに関する事例を書き出す。</p> <p>4 P6「いつも気をつけよう」を読み、書くときに気をつけることを確かめる。</p> <p>5 P88「たいせつ」を読み、意見文を書くときの組み立てを学ぶ。</p> <p>6 P86の作例を参考に、自分の考えがはっきりと伝わるような組み立てについて話し合う。</p> <p>7 相手に自分の考えが伝わる組み立てかどうかを友達と確認し合う。</p> <p>8 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを相手に伝える文章を書くときに、どんな組み立てで書けばよいかを整理する。</li> </ul>	<p>【関】 意見文の組み立てを考えながら、自分の考えを伝えようとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書いている。</li> <li>・自分の考えを相手に伝えるために、理由と、それに関する事例を挙げて書いている。</li> <li>・自分の考えが伝わるかを考え、句読点や段落の始めなどを意識して行を改めたりして書いている。</li> </ul> <p>【言】 句読点を適切に打ったり、段落の始めなどの必要な箇所は行を改めたりして書いている。</p>
7月	<p><b>漢字の広場②</b> 2時間（書②）</p> <p>◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。（伝国(1)ウ(イ)）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。（書(1)オ）</li> </ul> <p>■絵を見て想像したことをもとに書く。</p>	1 2	<p>1 教科書の絵を見て、それぞれの場面を想像し、提示された言葉を使いながら、夏の楽しみを文に書く。</p> <p>2 書いたものを友達と読み合い、正しく漢字が使われているか評価し合う。</p> <p>3 書いたものを読み返し、間違いを直すなどして推敲する。</p>	<p>【関】 絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。</p> <p>【書】 書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。</p> <p>【言】 提示された漢字を正しく使って、文を書いている。</p>
7月	<p><b>本は友達</b></p> <p>「読むこと」について考えよう 【コラム】 読みたい本の見つけ方 5時間（読⑤）</p> <p>◎いろいろな本や文章を、目的に応じた読み方で読むことができる。（読(1)カ、伝国(1)イ(ア)）</p> <p>◎目的や必要に応じて本文を引</p>	1	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに読んだ本の中で、印象に残っている本や文章を出し合う。</li> <li>・それぞれの本や文章を読むようになったきっかけについて話し合う。（ブックトークや紹介カード、紹介ポスターなど。）</li> <li>・紹介カードや紹介ポスターには、どんな工夫があるかを整理し、「友達が本を読みたくなるような紹介カードを作ろう」という学習課題を設定し、学習の見直しをもつ。</li> </ul>	<p>【関】 自分の読み方について振り返り、目的による読み物や読み方の違いに興味をもち、考えようとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本を紹介するため、本文を引用したり、要約したりすることができる。</li> <li>・目的に応じて、いろいろな文章を、それに合った読み方で読んでいる。</li> </ul> <p>【言】 考えたことや思ったことを表す言葉を意識して書いている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	用したり要約したり，心に残ったことを表したりすることができる。(読(1)エ) ■読書紹介カードを作る。 ☆読書活動(図書館活用)	2 3 4 5	2 どのように文章を読んでいるか振り返り，教材文を読んで物語と図鑑を比べるなど，文章の種類によって読み方にどのような違いがあるかを考える。 3 「かげ」を読んで，作品の感想や紹介したい理由を書く。 4 紹介カードを作る目的と相手，紹介カードに何を書くのかを確認する。 5 今までに読んだことのある本の中から，お気に入りの本について紹介カードを書く。 6 P101「読みたい本の見つけ方」を読み，本の探し方について確認する。 7 学習を振り返る。 ・本との出会い方について考え，これからもいろいろなジャンルの本を読んでいくことを確認する。	
9月	忘れもの ぼくは川 2時間(読②) ◎二つの詩を読んで考えたことを発表し合い，一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。(読(1)オ，伝国(1)イ(オ)) ○表現されている内容や作品中の話者の気持ちがよく分かるように音読することができる。(読(1)ア) ■詩を読んで，感想を述べ合う。	1 2	1 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら声に出して読み，自分が気に入った表現を見つける。 2 それぞれの詩の特徴的な表現について話し合う。 3 呼びかけ，擬人法など表現の工夫に目を向ける。 4 どちらか好きな詩を選んで，理由とともに感想を発表する。	【関】表現の工夫に着目して読み，詩を読むことや音読することを楽しんでいる。 【読】 ・詩の表現の工夫に気づき，音読に表している。 ・自分が気に入った詩の感想を，理由とともに述べている。 【言】表現の工夫に目を向け，考えや思いを表現する言い回しや方法，語句を増やしている。
9月	カンジーはかせの漢字しりとり 2時間(伝国②) ◎漢字しりとりを楽しみ，漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。(伝国(1)ウ(イ))	1 2	1 「漢字しりとり大会」を開くために，説明を読み，漢字しりとりのきまりを理解する。 2 熟語を作る漢字しりとりに挑戦して，正しい漢字を確かめる。 ・グループで「漢字しりとり大会」を開いてもよい。	【関】進んで問題に取り組もうとしている。 【言】問題に取り組む，正しく漢字を書いている。
9月	5 調べたことを整理し，発表しよう だれもが関わり合えるように 【資料】手と心で読む 15時間(話・関⑤) ◎関心のあることなどから話題を決め，必要なことを調べて要点をメモすることができる。(話・関(1)ア) ◎相手や目的に応じ，理由や事例などを挙げながら筋道を立て，話し方の工夫を考えて話すことができる。(話・関(1)イ・ウ，伝国(1)イ(ア)) ○話の中心に気をつけて聞き，質問をしたり感想を述べたりすることができる。(話・関(1)エ) ■調査の報告をしたり，それらを聞いて意見を述べたりする。	1 2 3 4 7 8 13 14 15	1 学習の見通しをもつ。 ・資料「手と心で読む」を読み，「自分のまわりにある，だれもがよりよく関わり合うための工夫を調べて発表しよう」という学習課題を設定し，学習計画を立てる。 2 P115を参考に課題を設定し，自分の課題を決める。 3 目的と課題に合った調査方法を考えて，学習の計画を立てる。 4 カードにメモを取りながら，計画に沿って調査する。 5 調べたことや集めた情報を分類・整理し，発表原稿を書く。 6 発表に必要な提示資料を作成する。 7 聞き手を意識した発表の工夫を考え，練習する。 ・友達と聞き合い，アドバイスし合う。 8 発表する。 ・発表を聞き合い，感想を交流する。 ・P119「たいせつ」を確認するとよい。	【関】文章を読んで関わり合いについて考え，課題について進んで調べようとしていたり友達に分かるように発表しようとしていたりしている。 【話・関】 ・調べる方法を選び，課題を解決するための情報を集め，メモしている。 ・工夫して情報を整理している。 ・内容やまとまりを意識して，まとまりや組み立てが分かるように話している。 ・相手を見たり，大事な言葉や部分を強調したりするなど，工夫して話している。 ・発表を聞き，気づいたことや質問したいことをメモに取ったり発言したりしている。 【言】言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	☆相手を思いやり、他者理解を促す題材（道徳・総合的な学習の時間） ☆調べ学習（図書館活用）		9 学習を振り返る。 ・集めた資料を分類・整理するときに気をつけたことや、大事なことが伝わるように話すためにした工夫をまとめる。	
10月	<b>漢字の広場③</b> 2時間（書②） ◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。（伝国(1)ウ(イ)） ・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。（書(1)オ） ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。（伝国(1)イ(ク)） ■絵を見て想像したことをもとに書く。	1 2	1 教科書の絵を見て、場面や出来事を想像し、提示された言葉を使いながら、「おむすびころりん」と「浦島太郎」の話を完成させる。 2 書いたものを友達と読み合い、正しく漢字が使われているか評価し合う。 3 書いたものを読み返し、間違いを直すなどして推敲する。	<b>【関】</b> 絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。 <b>【書】</b> 書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。 <b>【言】</b> ・指示語や接続語を適切に使って、文を書いている。 ・提示された漢字を正しく使って、文を書いている。

## 4 年 下 巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
10月	<b>1 読んで考えたことを話し合おう</b> <b>ごんぎつね</b> 14時間（読①、書③） ◎文章を読んで、考えたことを発表し合い、互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合うとともに、一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。（読(1)エ・オ） ○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。（読(1)ウ） ○考えたことが文章に表れているか見直すとともに、書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を伝え合うことができる。（書(1)オ・カ、伝国(1)イ(ア)） ■物語を読んで考えたことを話し合う。	1 2 3 8 9 10 11 13 14	1 学習の見通しをもつ。 ・P4「四年生の学習を見わたそう」を確認するとよい。 ・これまでに学習した教材を振り返り、一人一人の感じ方や考え方の違いがあったことを思い出す。 ・『ごんぎつね』を読み、感じたことや考えたことを話し合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 教材文を読み、初発の感想を書く。 3 教材文を読み、登場人物の行動や気持ちの変化を捉える。 ・登場人物の行動や会話から、その人物の性格や境遇、気持ちの変化を捉える。 ・登場人物どうしの関係の変化について考える。 4 自分の感想を100～200字程度にまとめる。 5 感想をグループで交流し合い、友達の感想と比べながら、自分の感想を深める。 ・話し合いの進め方を確かめる。 ・何について話し合うかを決め、テーマに沿って話し合う。 ・自分の考えとは異なったり、新たな気づきにつながったりした友達の考えをノートにメモしながら聞く。 ・グループで話し合うことで深まったり、広がったりした自分の考えを書きまとめる。 5 「6」の場面の後で、「兵十」が「ごん」のことを「加助」に話すとしたら、どんな会話になるか考え、想像して会話を書く。 6 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 叙述に着目して物語を読み、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。 <b>【読】</b> ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化を読み取っている。 ・登場人物の性格や気持ちの変化、情景を表す文や語句に着目しながら読み、感想をまとめている。 ・物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気づいている。 <b>【書】</b> ・書いたものを読み返し、よりよい表現になるよう、推敲している。 ・書いたものを発表し合い、自分の考えと相手の考えを比べている。 <b>【言】</b> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
10月	<b>秋の風景</b> 2時間(書②) ◎秋の風景に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ)) ○秋の風景から想像を広げ、詩を書くことができる。(書(1)ア) ■詩を書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆地域の人々の生産(農業)に目を向けさせる題材(社会)	1 2	1 写真を見たり、俳句を読んだりして、秋の風景や様子を表す言葉を考える。 2 秋を表す言葉を入れた詩を書く。 ・書いた詩を発表し合い、友達が工夫したことを見つける。	<b>【関】</b> 季節を感じる風景に関心をもち、見つけたことを進んで書こうとしている。 <b>【書】</b> 秋の風景から想像を広げ、詩を書いている。 <b>【言】</b> 季節の風景や様子を表す言葉を増やしている。
11月	<b>慣用句</b> 2時間(伝国②) ◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、生活の中で使うことができる。(伝国(1)ア(イ)) ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆P94「わたしの研究レポート」の題材として活用できる。	1 2	1 教材文を読み、慣用句について知る。 2 設問の慣用句の意味を調べて、短い文を作り、友達が作ったものと比べるなどして、使い方の理解を深める。 ・国語辞典などを活用して慣用句を集め、慣用句の意味や使い方などをカードに書くとよい。	<b>【関】</b> 慣用句に興味をもち、進んで意味を調べようとしている。 <b>【言】</b> 国語辞典などを使って、慣用句の意味や使い方を調べ、文の中で使っている。
11月	<b>2 段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう</b>			
	<b>アップとルーズで伝える</b> <b>【コラム】言葉で変わる写真の印象</b> 8時間(読⑧) ◎それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。(読(1)イ、伝国(1)イ(ク)) ○写真と対応した部分に注意して読み、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴を整理することができる。(読(1)エ) ■説明の文章を読み、説明の工夫について考えてまとめる。 ☆実験・観察・調査などの記録・報告(理科・社会) ☆情報の発信のしかたやその意図に目を向けさせる題材(総合的な学習の時間)	1 2 5 6 7 8	1 学習の見通しをもつ。 ・教材文を読み、筆者の説明の工夫に関心をもちとともに、「説明のしかたの工夫を見つけよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 2P42「言葉」を読み、言葉や事柄について説明のしかたを学習する。 3 教材文を、段落どうしの関係を考えながら読み、文章の組み立てについて考える。 ・線や矢印を引きながら読んでもよい。 ・文章と写真の対応関係を考える。 ・「アップ」と「ルーズ」で伝えられることと伝えられないことを表に整理する。 ・接続語に着目する。 4 教材文の説明の工夫をグループや学級で交流し、「分かりやすい説明のしかた」をノートにまとめる。 5 テレビや新聞、雑誌などでの「アップ」と「ルーズ」の使われ方を確かめ、番組や記事を作った人の意図を考え、報告し合う。 6 学習を振り返る。 ・P43「言葉で変わる写真の印象」を読む。 ・「ふりかえろう」を参考にしながら、説明のしかたの工夫について学習したことを確かめる。	<b>【関】</b> 写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとしている。 <b>【読】</b> ・それぞれの段落の役割を、本文の内容から理解している。 ・写真と本文の対応関係を理解している。 <b>【言】</b> 指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解している。
11月	<b>「クラブ活動リーフレット」を作ろう</b> 8時間(書⑧) ◎書こうとするものの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。(書(1)イ・ウ) ・句読点を適切に打ち、段落の始めなど必要な箇所は行を改	1 2 7 4	1 学習の見通しをもつ。 ・「アップとルーズで伝える」で学んだことから、「写真と文章を組み合わせたリーフレットを作ろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 説明する相手や内容を決め、取材する。 3 文章の組み立てを考える。 ・知らせたいことに合わせて「アップ」と「ルーズ」にしたい内容を決め、写真を選ぶ。 4 説明する文章を書く。	<b>【関】</b> 分かりやすく説明するために、写真を選んだり、文章を書いたりしようとしている。 <b>【書】</b> ・文章全体の構成を理解し、書くものの中心を明確にして書いている。 ・選んだ写真と文章を対応させて書いている。 <b>【言】</b> 句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書いている。



月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	めることができる。(伝国(1)イ(エ)) ■写真と文章を組み合わせて、リーフレットを作成する。 ☆リーフレットを作成する。(社会・総合的な学習の時間)	8	・取材したことから必要なことを選んだり、整理したりして写真と文章を対応させ、知らせたいことを説明する文章を書く。 5リーフレットの形にして仕上げる。 6仕上げたリーフレットを紹介し合う。 7学習を振り返る。	
12月	<b>短歌・俳句に親しもう(二)</b> 1時間(伝国①) ◎短歌や俳句を音読して、情景を想像しながら、日本語特有のリズムを感じ取ることができる。(伝国(1)ア(ア)) ■音読したり暗唱したりする。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	1	1短歌・俳句を何度も声に出して読み、言葉の調子や響きを楽しむ。 ・気に入った短歌や俳句を選び、音読したり暗唱したりして楽しむ。 ・添えられた大意を、情景を思い浮かべる参考にするるとよい。	【関】短歌や俳句について情景を思い浮かべながら声に出して読もうとしている。 【言】好きな短歌や俳句を選び、五七調の語感やリズムに気をつけて音読している。
12月	<b>3 心に残ったことを感想文に書こう</b>			
	<b>ブラタナスの木</b> 8時間(読⑧) ◎読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気づくことができる。(読(1)エ・オ) ○登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。(読(1)ウ、伝国(1)イ(ア)) ■物語を読んで、感想文を書く。	1 2 3 4 5 6 7 8	1学習の見通しをもつ。 ・これまでに学習した教材を振り返り、登場人物どうしの交流を描いた作品を思い出す。 ・「物語を読んで、心に残ったことを感想文に書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2教材文を読む。 ・場面の移り変わりや出来事に着目する。 ・自分の体験と照らし合わせる。 3心に最も強く残ったことや感じたことを、一文で書く。 4書いた一文を読み合い、なぜそう考えたのか説明し合う。 5自分が体験したことや普段考えていることなどと比べながら、「初め」「中」「終わり」の組み立てで400字程度の感想文を書く。 6書いた感想を読み合い、推敲した後、清書する。 7P62「言葉」を読み、季節や風景を生き生きと表す言葉や表現をノートに書き出す。 8学習を振り返る。	【関】自分の体験と重ね合わせながら、物語を読もうとしている。 【読】 ・場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉えている。 ・心に残ったことを伝えるため、本文を引用したり要約したりして感想を書いている。 ・物語を読んだ感想を交流し、一人一人の感じ方の違いを理解している。 【言】情景を表す言葉や表現を見つけている。
12月	<b>漢字の広場④</b> 2時間(書②) ◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ) ■絵を見て想像したことをもとに書く。	1 2	1教科書の絵を見て、学校の様子を想像し、3年生までに習った漢字を使って、短い文を書く。 2書いた文を読み返す。 ・句読点や送り仮名が正しく使えているかなどを確かめ、間違いを直す。	【関】絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。 【書】書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。 【言】提示された漢字を正しく使って、文を書いている。
12月	<b>文と文をつなぐ言葉</b> 4時間(書②、伝国②) ◎文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使うことができる。(伝国(1)イ(ク)) ○文と文をつなぐ接続語の役割を知り、文章をよりよい表現にすることができる。(書(1)オ)	1 2 3 4	1接続語の使い方によって意味が変わる文を読み、「文と文をつなぐ言葉を使って文を書き、友達と交流しよう」という学習課題を設定する。 2P67の表からつなぎ言葉の働きと使い方を確かめ、役割について整理する。 3教科書の課題に取り組む。 4つなぎ言葉を使って、短い文を書き、友達と交流する。	【関】接続語の使い方や違いを考えようとしている。 【書】接続語を適切に使って、文を書いている。 【言】接続語が文と文とのつながりに果たす役割を理解して、使っている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
1月	<p><b>のはらうた</b> 2時間（読②）</p> <p>◎野原の住人の性格や思いを想像しながら、詩を読むことができる。（読(1)ウ、伝国(1)イ(ア)）</p> <p>○好きな詩を選んで発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。（読(1)オ）</p> <p>■詩を読み、感じたことを伝え合う。</p> <p>☆自然に目を向け、動植物に寄り添う心を養う題材（道徳）</p>	1  2	<p>1 「のはらうた」を音読する。</p> <p>2 「のはらうた」から好きな詩を選ぶ。 ・P71脚注の『のはらうた』シリーズの5冊から、詩を選んでよい。</p> <p>3 選んだ詩を紹介する。 ・野原の住人の性格や気持ちを想像し、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して音読する。 ・詩から想像した野原の住人の気持ちやその詩を選んだ理由を話す。</p>	<p>【関】自分の好きな詩を選び、野原の住人の性格や情景を想像しながら、読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の工夫に着目して読んでいる。</li> <li>・自分の好きな詩を、その理由や感想とともに発表し、一人一人の感じ方の違いに気づいている。</li> </ul> <p>【言】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。</p>
1月	<p><b>野原に集まれ</b> 5時間（書⑤）</p> <p>◎前教材「のはらうた」で読んだ数編の詩を参考に、自分が作りたい詩について考えることができる。（書(1)ア）</p> <p>○書いた詩を読み合い、表現のよさなどについて交流することができる。（書(1)カ、伝国(1)イ(ア)）</p> <p>■想像したことをもとに、詩を作る。</p> <p>☆自然に目を向け、動植物に寄り添う心を養う題材（道徳）</p>	1 2 3 4 5	<p>1 『のはらうた』を読み、「野原の住人になりきって詩を書き、発表をしよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 自分の「のはらうた」を作る。 ・P72の絵を参考にしながら、野原の誰になるかを考える。 ・野原の誰かになりきって、見えてくる風景や聞こえてくる会話などを想像してノートに書く。 ・ノートに書いたことをもとに、詩を書く。</p> <p>3 書いた詩を読み合う。 ・よりよい表現になるように、アドバイスをし合い、推敲する。</p> <p>4 書いた詩を紹介する。 ・互いの作品の感想や、よいところを伝え合う。 ・詩集にしたり、他学年の児童が読めるよう、P73の野原の地図を作るなどして、展示したりしてもよい。</p>	<p>【関】野原の住人になりきって詩を書こうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野原の住人の特徴を自分なりに考えて、何を書くのかを決めている。</li> <li>・自分の書いたものと友達が書いたものを比べている。</li> </ul> <p>【言】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。</p>
1月	<p><b>冬の風景</b> 2時間（書②）</p> <p>◎冬の風景に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。（伝国(1)イ(オ)）</p> <p>○書いた手紙を読み返し、文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。（書(1)オ）</p> <p>■手紙を書く。</p> <p>☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）</p> <p>☆絵手紙をかく。（図画工作）</p>	1 2	<p>1 写真を見たり、俳句を読んだりして、冬の風景や様子を表す言葉を考える。</p> <p>2 2 相手を決め、見つけた言葉などを参考に、冬の様子を初めに置いて、自分の近況などを手紙に書く。 ・書いた手紙を読み合い、友達が工夫したことを見つける。</p>	<p>【関】季節を感じる風景に関心をもち、見つけたことを進んで書こうとしている。</p> <p>【書】書いた手紙を読み返し、文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりしている。</p> <p>【言】季節の風景や様子を表す言葉を増やしている。</p>
1月	<p><b>4 きょうみをもったところを中心に、しょうかいしよう</b></p> <p><b>ウナギのなぞを追って</b> 8時間（読⑧）</p> <p>◎事実と考察の関係を押さえて読み、自分が興味をもったところ、感心したところを中心に、文章を要約したり引用したりして紹介することができる。（読(1)イ・エ、伝国(1)イ(ア)）</p> <p>○文章を読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気づくことができる。（読(1)オ）</p>	1 2 4	<p>1 学習の見通しをもつ。 ・3年下巻「ありの行列」で科学読み物を紹介したことを思い出す。 ・「科学読み物を読み、興味をもったところを中心に紹介しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 2 教材文を読む。 ・調査の目的、調査から分かった事実、筆者の考えを区別する。 ・写真や図表などを、本文と対応させる。</p> <p>3 内容を整理する。 ・興味に応じて、読む観点を決める。</p>	<p>【関】調査によって明らかになる事実と、考察とで構成された調査報告文に興味をもち、進んで読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的によって「大事なこと」（キーワード・キーセンテンス）が違うことを理解している。</li> <li>・必要な情報と不必要な情報を区別し、目的に応じた要約をしている。</li> <li>・興味をもったところを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気づいている。</li> </ul>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>■興味をもったところを中心に、紹介する。</p> <p>☆生き物の生態に目を向けさせる題材(理科)</p> <p>☆実験・観察・調査などの記録・報告を、事実と考えを明確にして書きまとめる。(理科・社会・総合的な学習の時間)</p>	5 6 7 8	<p>・決めた観点に沿って、大事なことを書き出す。</p> <p>4 P86「たいせつ」を読み、3をもとに200字程度で要約する。</p> <p>5 自分の考えを理由づけながら紹介文を書く。</p> <p>6 紹介文を読み合い、友達の考えと自分の考えの相違点と共通点を明確にして、感じたことを伝え合い、考えを深める。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>・興味をもったところを中心に文章を要約するとき工夫したことを確かめる。</p>	【言】観察・実験・調査などの記録や報告をまとめるときに使う表現について理解している。
1月	<p>漢字の広場⑤</p> <p>2時間(書②)</p> <p>◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ))</p> <p>・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ)</p> <p>■絵を見て想像したことをもとに書く。</p>	1 2	<p>1 教科書の絵を見て、休日の様子を想像し、3年生までに習った漢字を使って短い文を書く。</p> <p>2</p> <p>・どこで、どんな人が、どんなことをしているのかを書く。</p> <p>2 書いた文を読み返す。</p> <p>・主語や述語を整えたり、間違いを直したりするなどして推敲する。</p>	<p>【関】絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。</p> <p>【書】書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。</p> <p>【言】提示された漢字を正しく使って、文を書いている。</p>
2月	<p>聞き取りメモの工夫</p> <p>6時間(話・関⑥)</p> <p>◎自分の目的と照らして、自分にとって大切な情報は何かを考えながら聞くことができる。(話・関(1)エ、伝国(1)イ(イ))</p> <p>○話を聞いて、要点をメモすることができる。(話・関(1)ア)</p> <p>■大事なことをメモに取りながら聞く。</p> <p>☆話を聞きながら、自分に必要な情報をメモに取る。(社会・総合的な学習の時間)</p>	1 2 4 5 6	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>・これまでの学習で、メモを取った経験を思い出し、うまくいったときや失敗したときのことを振り返り、項目ごとに整理する。</p> <p>・「大事なことを落とさず聞き、メモを取るための工夫を見つけよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 音声CD(または教師の音読)で、放送委員会の説明を聞き、大事なことを落とさないように、短い言葉でメモを取る。</p> <p>3 メモの取り方の工夫について考える。</p> <p>・P90のメモの例を見て、それぞれの工夫を見つけ、自分のメモと比べる。</p> <p>・グループで互いのメモの取り方を比べる。</p> <p>・記号や線を用いたり、箇条書きにしたりするなど、メモの取り方の工夫を考える。</p> <p>4 3をもとに、もう一回、放送委員会の説明を聞き、聞き取れなかったところを質問する。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・メモを読み返し、気づいたことを書き加え、整理する。</p> <p>・話を聞きながらメモを取るときに気をつけたことを振り返り、大事なことを落とさないためのメモの大切さやその工夫についてまとめる。</p>	<p>【関】必要なことを聞き取り、工夫してメモを取ろうとしている。</p> <p>【話・関】</p> <p>・話を聞き、要点をメモに取っている。</p> <p>・目的や必要に応じて情報を聞き分け、自分にとって大事なことを聞き取っている。</p> <p>【言】目的に応じて漢字と仮名を使い分けている。</p>
2月	<p>熟語の意味</p> <p>2時間(伝国②)</p> <p>◎訓や漢字の組み合わせを手がかりにして、熟語の意味を考えとともに、これまでに学習した漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。(伝国(1)ウ(イ))</p>	1 2	<p>1 熟語の意味を理解し、訓を手がかりにして、熟語の意味を考え、友達と説明し合う。</p> <p>2 熟語がどのような組み合わせでできているかを調べる。</p> <p>・国語辞典や漢字辞典を引き、熟語の意味を調べる。</p>	<p>【関】熟語の成り立ちや意味に興味をもち、進んで調べたり考えたりしようとしている。</p> <p>【言】熟語を構成する漢字の組み合わせを知り、組み合わせ方や訓から熟語の意味を考えている。</p>
2月	5	本で調べて、ほうこくする文章を書こう		
3月	わたしの研究レポート	1	1 学習の見直しをもつ。	【関】自ら進んで調べて、調べたことや考えたことを書こうとしている。
	15時間(書⑬)	2	・社会科や総合的な学習の時間にレポートを書いたことなどを振り返る。	【書】

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>を調べ、調べて分かったことを明確にして文章を書くことができる。(書(1)ア・ウ・エ)</p> <p>○書いたものを読み返し、必要に応じて修正することができる。(書(1)オ)</p> <p>○表現したり理解したりするために必要な語句について辞書を利用して調べることができる。(伝国(1)イ(カ))</p> <p>■文献調査をし、調べたことを報告する文章を書く。</p> <p>☆調べたことをもとに、報告する文章を書く。(社会・総合的な学習の時間)</p> <p>☆調べ学習(図書館活用)</p>	3 5 6 13 14 15	<p>・「本で調べて、報告書を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 教材文を読み、報告書を書く手順を学ぶ。</p> <p>3 P100の作例を読み、報告書の構成や分量を確認する。</p> <p>4 調べたい事柄を決める。</p> <p>・課題と問いの案を考え、箇条書きにする。</p> <p>5 調べたい事柄に合う本を図書館で探し、複数の本を読み、調べた情報を記録する。</p> <p>・P7「続けてみよう」を読む。</p> <p>・調べて分かったことを箇条書きで整理する。</p> <p>・必要に応じて絵や図表を書き写す。</p> <p>・調べた本の題名、筆者名、出版社、発行された年はメモしておく。</p> <p>6 P98「ほうこく書の型」を参考に、調べた事柄を整理し、組み立てを考える。</p> <p>7 6をもとに、800字程度の報告書を書く。</p> <p>・本から引用するときは、P100の注を参考に、元の言葉や文章をそのまま使い、他とは区別して書く。</p> <p>8 書き上げた報告書を読み合い、友達が工夫しているところを伝え合い、自分の報告書に取り入れる。</p> <p>9 学習を振り返る。</p> <p>・問いに対する答えを見つけるための調べ方や、調べて分かったことをまとめるときに気をつけたことを振り返る。</p>	<p>・調べたいことを決め、必要に応じて情報を集めている。</p> <p>・本で調べたことを必要に応じて引用したり、要約したりしている。</p> <p>・敬体と常体の違いに注意しながら書いている。</p> <p>・書いたものを読み返し、必要に応じて、よりよい表現や適切な表現に改めている。</p> <p>【言】辞書を活用して、適切な言葉を用いている。</p>
3月	<p>ましがえやすい漢字 2時間(伝国②)</p> <p>◎同音異義語や同訓異字の使い分けを通して、漢字や語句の意味の違いに気づき、文や文章の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ))</p> <p>○漢字と仮名を用いた表記に関心をもつことができる。(伝国(1)イ(イ))</p>	1 2	<p>1 教科書を読み、平仮名で書くと同じになる言葉について考える。</p> <p>2 なじみのない読み方をする言葉の意味を国語辞典で調べ、短い文を作る。</p> <p>3 意味と結び付けた読み方について、P137「これまでに習った漢字」を使って、音訓を確認する。</p>	<p>【関】同音異義語や同訓異字に興味をもち、自分が間違えやすい漢字を確かめようとしている。</p> <p>【言】</p> <p>・同じ発音でも違う漢字で表す言葉があることを理解している。</p> <p>・自分が間違えやすい漢字を使った言葉を集めて文を作ったり、漢字の音訓を調べたりしている。</p>
3月	<p>6 読んで感じたことが伝わるように、音読しよう</p> <p>初雪のふる日 7時間(読⑦)</p> <p>◎感想の中心を明確にして、音読することができる。(読(1)ア、伝国(1)イ(オ))</p> <p>○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景を想像して読むことができる。(読(1)ウ)</p> <p>■音読する。</p>	1 2 5 6 7	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>・4年生で学習した物語を思い出し、印象に残っていることや感想を交流する。</p> <p>・「読んで感じたことが伝わるように、音読を発表しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 場面の移り変わりに注意しながら、女の子の様子や気持ちの変化に着目して読む。</p> <p>3 場面や登場人物の様子について感じたことを交流する。</p> <p>4 心に残った場面について、音読の工夫を考え、グループで聞き合い、アドバイスをする。</p> <p>・声の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫する。</p> <p>5 音読発表会など、音読を発表する場をもち、読んで感じたことが伝わるように、音読をする。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>・音読発表を振り返り、読んで感じたことが伝わるような音読の工夫のしかたを整理し、学習のまとめをする。</p>	<p>【関】読んで感じたことや考えたことを明らかにして、音読しようとしている。</p> <p>【読】</p> <p>・場面や登場人物の様子がよく分かるように、声の抑揚、強弱、間の取り方などに気をつけて音読している。</p> <p>・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景を表す言葉に着目して、読んでいる。</p> <p>【言】場面の様子を表す言葉に着目して、表現したり、理解したりするときに必要な語句を増やしている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
3月	<p>漢字の広場⑥</p> <p>2時間（書②）</p> <p>◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ))</p> <p>・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ)</p> <p>■絵を見て想像したことをもとに書く。</p>	1 2	<p>1教科書の絵を見て、一年間の出来事を想像し、3年生までに習った漢字を使って、短い文を書く。</p> <p>2書いた文を読み返す。</p> <p>・間違いを直したり、よりよい表現を考えたりして、推敲する。</p>	<p>【関】絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。</p> <p>【書】書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。</p> <p>【言】提示された漢字を正しく使って、文を書いている。</p>
3月	<p>十年後のわたしへ</p> <p>2時間（書②）</p> <p>◎目的に合った内容を考えて、手紙を書くことができる。(書(1)ア)</p> <p>○書いた手紙を読み返し、表記の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ、伝国(1)イ(エ))</p> <p>■手紙を書く。</p> <p>☆上巻P138「手紙で伝えよう」</p>	1 2	<p>1生まれてから十年間の出来事を振り返ったり、これからの十年間を想像したりして、簡単な年表を作る。</p> <p>2P124の作例を読み、手紙の内容を考える。</p> <p>3十年後の自分に向けて手紙を書く。</p> <p>4書いた手紙を友達と読み合う。</p> <p>・文字表記を確かめ、よりよい表現になるよう見直し、清書する。</p>	<p>【関】ふさわしい言葉を選んで、手紙を書こうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に合った内容を考えて、手紙を書いている。</li> <li>書いた手紙を読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。</li> </ul> <p>【言】句読点の打ち方などに気をつけて、手紙を書いている。</p>